

平成 27年度  
「大学生の力を活用した集落復興支援事業」  
活動報告書

公立大学法人 会津大学短期大学部

れっつ！ミンナと

平成 28 年 3 月 14 日

## 目次

1. はじめに
2. 湊地区の概要・現状
3. 活動スケジュール
4. 資源調査
5. 住民アンケート調査
6. 住民ワークショップ
7. 活性化のシナリオ
8. おわりに
9. 謝辞
10. 参考資料

## 1. はじめに

私たち、会津大学短期大学部れっつ！ミンナとは、会津大学短期大学部産業情報学科経営情報コース青木研究室 2 年生の 6 名(大川楓、加藤沙希、佐藤佳奈子、永野麻美子、馬場真由、和田珠希)で構成されている。なお、次年度以降事業を引き継ぐ青木研究室 1 年生の 6 名も 2 年生のサポート役として活動を行った。湊地区内で発足した地域活性化協議会の皆様や湊地区在住の若者の方々に協力をしていただきながら住民アンケート調査や地域資源ヒアリングおよびフィールド調査、地区文化祭への参加などを行った。

アンケート調査の報告会・ワークショップを行う際にもおにぎりや豚汁、漬物等をふるまってくださり、和やかな雰囲気での報告会を行うことができた。お話の中では、湊地区の歴史や資源等について丁寧に熱く語ってくださった。今後は湊地区の美しい景色と共にこのような住民の方々を PR してきたいと思った。

れっつ！ミンナと構成メンバー(50 音順)

- ・大川楓
- ・加藤沙希
- ・佐藤佳奈子
- ・永野麻美子
- ・馬場真由(代表)
- ・和田珠希

## 2. 湊地区の概要・現状

### ➤ 湊地区について

湊地区は、中心市街地までに山を一つ越え、車で約 30 分かかる場所に位置している。また、水稻・大豆などの栽培が盛んな農業地帯で、集落営農の組織化が進んでいる。農産物をいかしたグリーンツーリズムや、夏は湖水客でにぎわう猪苗代湖、天然記念物である赤井谷地などの地域資源も豊富である。



### ➤ 湊地区の概要

- 土地面積 (H25) : 46,023 m<sup>2</sup>
- 人口 (H26) : 1,948 人
  - ・20 歳未満 : 267 人
  - ・20-39 歳女性 : 132 人
- 世帯数 (H26) : 649 世帯
- 高齢化率 (H26) : 38.2%

会津若松市に編入合併した昭和 30 年当時から、人口は半分以下まで減少しており、高齢化と若年世代の減少が急速に進んでいる。それに伴い、基幹産業である農業の後継者不足や、コミュニティーの活力衰退が問題視されている。湊地区は 16 の集落で形成されており、土地面積も広い。そのため人口は一見多いように思えるが、人口減少や、高齢化が深刻な状況である。また、地域に病院がないことや、公共交通路線が利用しづらいなどの問題もある。

▶ 湊地区の現状

湊地区は県内有数の豪雪地帯である。住民からは、「除雪ができなくなると住めない」、「年金暮らしでの暖房費は高負担である」、「冬期間は、豪雪と強風で車が通行できない状態があり不安」といった意見が出されている。また、人口減少の影響を受け、小学校が統合するなどしている。さらに、地区内の商店はコンビニたった1軒のみである。



湊地区の冬の様子



廃校になった原小学校



廃業になった自転車屋さん

### 3. 活動スケジュール

7月 4日 顔合わせ

8月 20日 住民アンケート調査打合せ

調査期間 9月 1日～9月 12日

回答数 321 世帯

9月 15日 第1回資源調査

10月 24日 第2回資源調査(文化祭参加)

10月 29日 ワークショップ研修会

11月 28日 湊地区まちづくり調査報告会&ワークショップ

12月 19日 第3回資源調査



湊地区まちづくり調査報告会&ワークショップの様子



顔合わせの様子

## 4. 資源調査

### ▶ 第1回資源調査

実施日:2015年9月15日

目的:フィールド調査

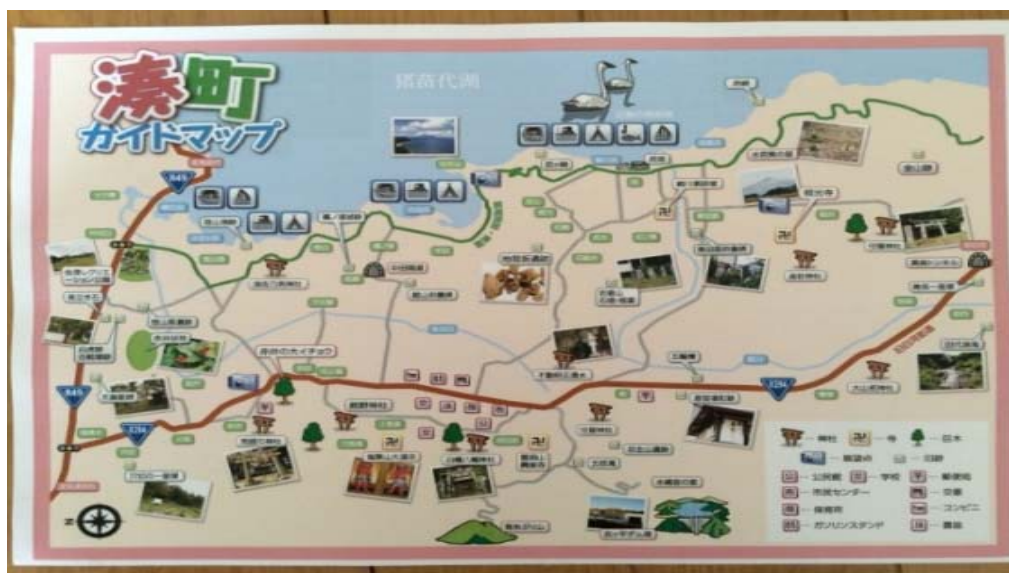
方法:湊町ガイドマップをもとに車、徒歩で湊地区を周る

第1回資源調査では、湊町ガイドマップをもとに車、徒歩で湊地区を周るフィールド調査を行った。目的は住民の方が普段何でもないと思っているものなど、大学生の視点から湊の宝を発見するためである。

第1回資源調査を通し、湊がいかに資源にあふれているかということを感じた。自然・歴史・文化など様々なカテゴリの資源を発見した。

一方、問題点も発見した。それは、湊地区には「湊町ガイドブック」という立派なマップがあるにもかかわらず、道に目印となるものが少ないため、目的地にたどり着くことが非常に困難ということである。





➤ 第2回資源調査

実施日:2015年10月24日

目的:ヒアリング調査、フィールド調査、湊地区文化祭への参加

第2回資源調査は、フィールド調査の追加調査に加えヒアリング調査を行い、湊地区の文化祭に参加した。湊地区文化祭は、湊地区に住む子供からお年寄りまで幅広い世代が集う非常に活気のあるお祭りであった。



盆踊りをする会津短大生



▶ 第3回資源調査

実施日:2015年12月19日

目的:湊地区の食に関する資源の発見

▶ 湊地区資源一覧(実地調査、湊町ガイドマップ、原地区アンケート調査より作成)

お寺

資源名
福聚山 大満寺
雲洞山 興泉寺
崎川薬師堂
照光寺

旧跡

資源名
笹山港跡
笹山原遺跡
穴切の一里塚
鶴ノ浦城遺跡
館山供養碑
地間坂遺跡
五郎滝
坊主山遺跡
原宿場町跡
田代浪滝
高坂一里塚
金山跡
東田面供養碑
岩倉山 石塔・塔婆
恋ヶ崎

神社

資源名
須佐乃男神社
荒脛巾神社
守屋神社
不動明王清水

熊野神社
白幡八幡神社
大山祇神社
愛宕神社
鬼渡神社

食べ物

資源名
とうふもち
四季もち
じゅうねんもち
ぬたもち
くるみもち
干しもち
凍みもち
笹巻き
角巻き
やきもち
こづゆ
ざく煮
くじら汁
冬のカス煮
芋から汁
打ち豆を入れた味噌汁
味噌かんぷら
じゃがもち
まんじゅうの天ぷら
くじらかんぷら
ふきいため

べた煮大根
シソ味噌
味噌豆
きり漬け大根
ぜんまい
たらのめ
山菜ごはん
煮合い
アカンボー
あけび
かりんとう
やまぶどう
そば
ニシンの山椒漬
イナゴの佃煮
いかにんじん

## 景観

資源名
湊町の花 サギソウ
ひまわり畑
そば畑
猪苗代湖の風景
秋の黄葉紅葉
ホタル
水芭蕉
雪景色

### ➤ 資源の詳細

これらの資源の中から、4つの資源を抜粋し、紹介する。

## 資源①不動明王清水

その名のとおり清水の湧き出る神社である。私たちが資源調査を行った日は、とても暑かったが、不動明王堂はそんな暑い日でもひんやりと神聖な空気が漂っている。清水のそばにはベンチも置いてあり、清水の音の聞こえる癒しスポット兼パワースポットのような場所として利用できるのではないかな。



## 資源②そば畑

湊の食の代表でもある蕎麦だが、そば畑は景観としても美しい上に食の面でも大きな魅力である。現段階でも湊ではそば打ち体験などが行われているが、蕎麦畑と食を連動させて活用し、湊の食の代表としてさらにPRできるだろうと考えている。



### 資源③猪苗代湖

湊イチの絶景である猪苗代湖。猪苗代湖は見る場所や季節によってまったく違う風景が楽しめる。秋には真っ青な空と湖、そして紅葉の赤がよりいっそう魅力的である。湖畔の道路は車の通りも少なく、ロードバイクのサイクリングに適していると考えている。資源調査当日も、ロードバイクに乗っている人が見られた。話を聞いてみると、湊はロードバイクに適しているという声が聞かれた。また、湊でロードバイクに乗っている人には、カップルや他地域から来たという人も見られた。



### 資源④食文化

豆腐もち・蕎麦を使った料理などが有名な湊地区。豆腐もちはTV番組などで取り上げられ注目が集まっている。「湊でしか食べられない」という希少価値のある食べ物をPRしていくことができればと考えている。



## 5. 住民アンケート調査

期間:2015年9月1日～12日

回答者:湊地区全戸を対象にした悉皆調査。ただし、回答者の年齢や性別に偏りの出ないように、同一世帯の中の高校生以上で、誕生日が最も1月生まれに近い人に依頼。

配布方法:各集落の代表者の方に調査票の配布と回収を依頼。

回答数:321世帯

調査項目:「あいべあ」という会津若松市の情報システムを活用し、地域活性化協議会の方と意見交換しながら設定した。

### 【点数の計算方法】

項目名	点数
満足／重要	100点
やや満足／やや重要	66.6点
やや不満／あまり重要でない	33.3点
不満／重要ではない	0点

「わからない」を選んだ人数については、上記表の4つの項目に按分処理をし、ふり分けた。上記の項目を選んだ人数に点数を乗じて点数化する。

### 【散布図の見方】

アンケートの質問項目ごとの満足度と重要度を一枚の表にまとめた。縦軸が重要度、横軸に満足度をとっており、重要度は55点から95点まで、満足度は15点から65点までの数字がとられている。評価については、散布図の右に位置するほど満足度が高く、上に位置するほど重要度が高い。重要度と満足度の点数の平均は点線で表示されている。重要度については平均よりも上にあるものは平均よりも重要度が高く、下にあるものは平均よりも重要度が低いことを表している。また、平均線よりも右にあるものは、平均より満足度が高く、左にあるものは平均よりも満足度が低いことを表す。

- ・領域1:満足度が低い、重要度が高いため、重要度改善が望まれる項目である。
- ・領域2:満足度が低く、重要度も低いため、ここに位置する項目は今後の推移を見ながら改善するかどうかの判断をするべきである項目
- ・領域3:満足度が高く、重要度も高いため今後も満足度を重点的に維持することが望まれている項目。
- ・領域4:満足度が高いにも関わらず、重要度が低い領域である。このようもくについては今後も満足度を維持することが望まれている項目である。

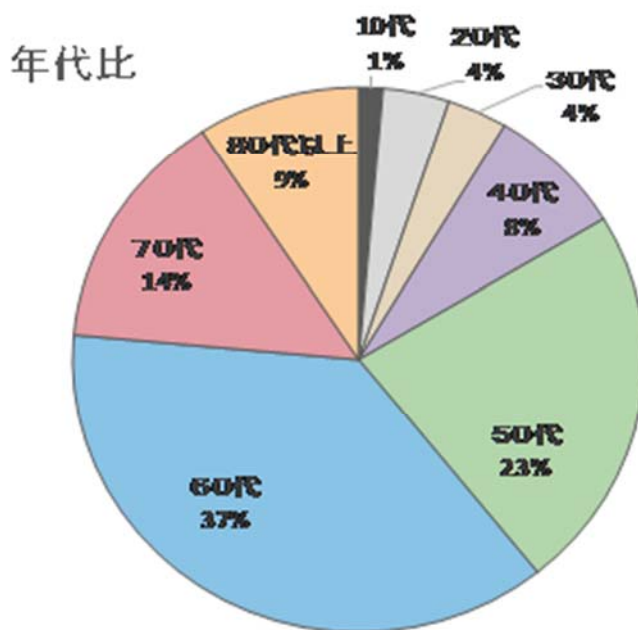
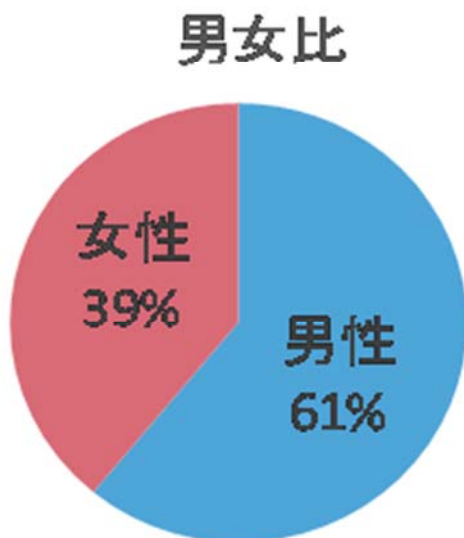
アンケート項目の「今後も湊地区に住み続けたいか」やそれに付随した自由記述により、湊地区住民の

意向として若者の定住への関心が高いことがわかった。若者に対して具体的な年齢については調査できなかったが、本報告においては 30 代を区切りとし、全体の重要度・満足度分析とは別に、30 代以下の散布図を作成した。

➤ アンケート結果

## 回答者の属性

n=321

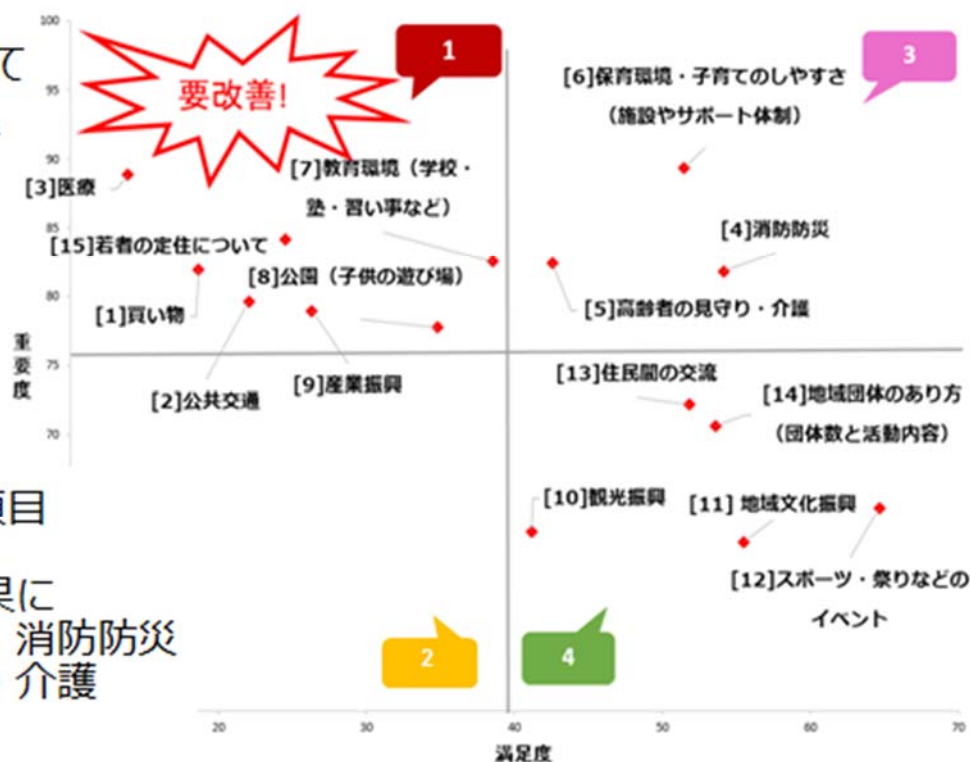


### 住民生活15項目について重要度と満足度を分析



- **要改善！！**  
若者の定住、公共交通  
医療、産業振興、買い物
- **良い点**  
保育環境・子育てのしやすさ、  
消防防災、高齢者の見守り・介護

## 先ほどの15項目について 30代以下の分析結果



- 要改善！！ + 2項目  
教育環境、公園
- 良い点は同じ結果に  
保育・教育環境、消防防災  
高齢者の見守り・介護

## 満足度・重要度 スネークチャート



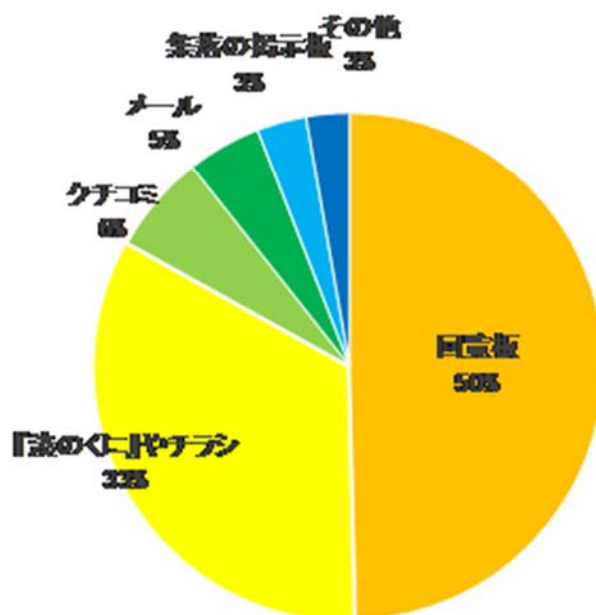


## 考察

- ▶ 男女の回答に差があるのは、「**買い物**」のみ
- ▶ 最も関心の高い項目は**若者の定住**について
- ▶ 若者が定住するには、「**住みやすいまち**」をつくることが重要
- ▶ 今後のまちづくりのポイント
  - 現状維持は、「**保育環境**」や「**高齢者の介護、見守り**」など
  - 要改善は、「**教育環境**」「**子どもの遊び場**」「**医療**」「**産業振興**」「**買い物**」など

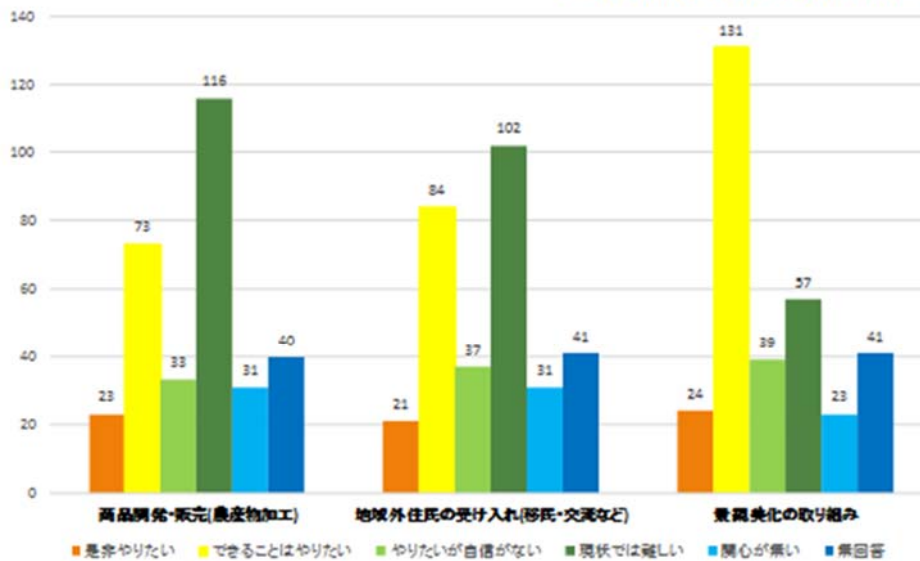
## 情報入手手段

- ▶ メールを用いた情報入手  
⇒5%
- ▶ 回覧板+チラシ等を用いた情報入手⇒86%
- ▶ 「**情報機器**」を用いた情報入手が遅れている。



# 参加意向

- ▶ 前向きな意見が多数
- ▶ しかし、現状では難しいという意見も
- ▶ 景観美化の取組みに参加意欲が高い。



## 6. 住民ワークショップ

アンケート調査の結果をもとに、WSを行った。湊地区在住の若者とWSのための運営研修を実施し、本番では地域の若者がグループワークの進行を務めた。また34名の住民が参加をし、その中には、地域活動に参加しない住民の方も姿を見せてくれた。

研修



本番



- ▶ 地域から推薦された若者と一緒に、ワークショップの運営方法を事前研修。
- ▶ メンバーとは、SNS（あいべあ）を使ってコミュニケーションを取り、本番のテーマを決定。
- ▶ 本番では地域の若者がグループワークの進行役を務め、短大生がサポート。



参加人数：34人  
男女比：男性55%,女性45%

- ▶ 普段はこのような地域活動に参加しない若者の姿もみられた。

これはWSの結果の一覧を一部抜粋したものである。

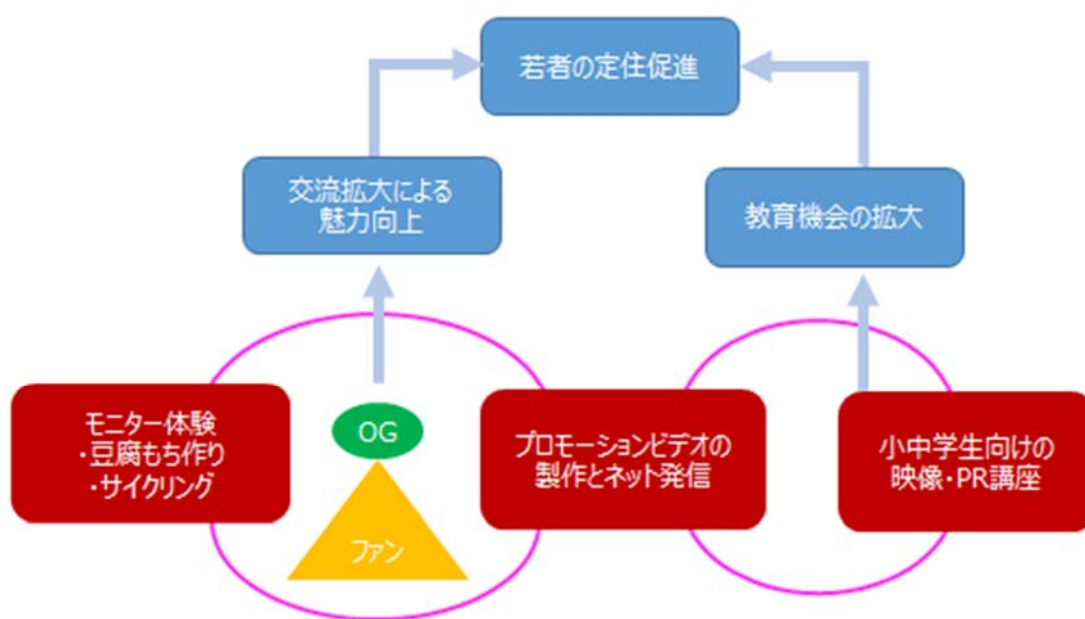
	今すぐ取り組めるもの	取り組みに時間がかかるもの	じっくり取り組むもの
1班 若者の定住	イベントの催し(音楽フェスなど)	結婚して若者が増えるように	働く場所
	食べ物でつる(とうふもちなど)	買い物できる環境づくり	ショッピングモール
	子育て環境	遊び場(居酒屋、カラオケなど)	給料の良い会社
	家庭の絆(コミュニケーション)	おしゃれなお店	高校の普及
	若者が喜んで暮らせる環境づくり	医療機関	
		余暇を楽しめる場所	
		交通の便の改善	
2班 若者の定住	子育て世代の娯楽	正社員として働く場所	映画館
	湊全体のイベント(花火大会)	出会いの場を作る	仕事
	合コンイベント	買い物を近く	企業誘致
	1人5人ずつ産む	ヒカリ(インターネット)	安定した職業
	親が子に近くにいてと言う	在宅勤務	寒さを利用した製品作りの工業誘致
	美人の奥さん	子供の遊び場	若松へのトンネル
	青年会に男女どちらも参加できるようにする	学習塾	公共交通機関の利便性
	飲み会・旅行など交流の場	医療関係	高速バス
	交通機関に頼れない		四季のよさをアピール
			冬場の道路

	今すぐ取り組めるもの	取り組みに時間がかかるもの	じっくり取り組むもの
1 班 公共交通	バスを増やす	市などの公共団体がバスの増便をする	トンネルの開通
	農道の整備	主要道路以外のところにバスを通す	雪が減ること
	無料バス(老人だけでも)	公共交通の値段を下げる	水上交通
	無料送迎車	予約制バス	モノレール
	雪かきをきれいにする	大きいタクシー	電車を通す
		自宅の前まで来てくれるバス	
		道路の雪が解ける	
2 班 買い物	乗り合わせ	近所に店	肉や・豆腐屋・お惣菜屋・魚屋さん欲しい
	移動販売	電話で買い物	子供がお小遣いで買い物に行ける場所
	宅配サービス	近所・歩ける距離の店	大型ショッピングセンター
	村でまとめて買い物	バス小型化・頻繁に	
	宅配便を利用した人の運搬		

## 7. 活性化のシナリオ

1年目の活動を終え、次年度以降の活性化のシナリオを考えた。湊地区が最終的に目指すのは「若者の定住」である。湊の問題点は、「豊富な資源を生かしてきていないこと」と、「子供の教育機会の不足」の2点だと考えている。教育機会の不足はアンケート調査で子育て世代の意見として挙げたものである。

これらの問題の解決のため、「交流拡大による魅力の向上」と「教育機会の拡大」を目指す。具体的に以下の3つである。まず地域資源である景観や食文化を生かしたモニター体験、また教育機会の拡大のため会津短大生が中心となり湊の子供たちに対し学びの場を提供する。その内容にはPR講座なども含まれ、湊の魅力をPRする方法を学ぶ。



現在考えている、2年目のプロジェクト案を紹介する。

## プロジェクト案① PVで若者を呼び込もう！

- ▶ 湊地区のプロモーションビデオを撮影、編集し、Youtubeなどの動画サイトに投稿して、魅力を発信する。
- ▶ 製作には、インターフェイスを学ぶ本学デザイン情報コース専攻の学生を巻き込む。
- ▶ 撮影には湊地区の住民の方々にも、幅広く協力してもらう。
- ▶ モニター体験の募集用PRとしても活用できる。



- PVで若者を呼び込む活動では湊地区のプロモーションビデオを撮影、編集し、Youtubeなどの動画サイトに投稿して魅力を発信する。

## プロジェクト案② みんなで湊CMを作ろう！

- ▶ 湊地区の子ども達を対象に、映像づくりや、広告小学校（※）のようなPRについて学べる講座を開催する。
- ▶ その中で、湊地区のどのようなところが良いのか、どのような魅力があるのかを一緒に考え、将来も湊地区に住み続けたいという愛着を育む。
- ▶ 受講した子ども達と一緒に、PV製作を行う。

※「広告小学校」は株式会社電通の社会貢献活動のひとつで、CMづくりを学習するツールです。  
平成26年度、27年度に本学で開催実績あり。



- 湊のCM作り活動では湊地区の子供達を対象に、映像作りや広告小学校のようなPRについて学べる講座を開催する。

## プロジェクト案③ モニター体験 ～湊ファンを増やそう！～

▶猪苗代湖周辺の絶景ポイントをサイクリングしたり、廃校を活用して湊地区の郷土料理である「豆腐もち」作りをしたりと、湊の魅力にふれる体験を通じて、湊ファンを増やす。

▶まずは、今春社会人になるメンバーOGが、サポーターとして職場の同僚を湊に連れてくる（上記の体験に参加してもらう）。

▶「豆腐もち」など地元食材の栄養分析や活用については、本学食物栄養学科専攻の学生も巻き込む。



- モニター体験では猪苗代湖周辺の絶景ポイントをサイクリングしたり、廃校を活用して湊地区の郷土料理である「豆腐もち」作りをしたりと湊の魅力にふれる体験を通じて、湊ファンを増やす。

### 8. おわりに

私たちは、大学で経営学を中心とした学問を学んでおり、経営的視点から集落復興について考えた。実践事業だけではなく、その事業を回していく組織のあり方についても議論をした。若者の人口流出が著しい過疎地域の現状を踏まえながらも、まちづくりへ、若者を巻き込むには、どうすればよいのか等も考え、実態調査を行った。

今回は、若者のワーキングチームを結成し、アンケート調査内容の検討や、ワークショップ運営勉強会を通して共に活動をした。若者ワーキングチームの方々が、私たちの提案や意見に対して真剣に向き合ってくくださる姿や、活動のために予定を調整して参加してくださったことにとっても感銘を受けた。若者が少ないといえども、そこにいる若者の方々はとても、輝いていた。そのような方々がますます輝き、さらに湊地区がさらに発展をしていけるよう、今後も貢献していきたい。

### 9. 謝辞

本活動をするにあたり、ご協力していただいた湊区長会会長の小檜山様をはじめ、湊地区地域活性化協議会の皆様、湊地区公民館館長大竹様はじめ、職員の皆様、会津若松市地域づくり振興課の渡部様、福島県企画調整部地域振興課の職員の方々へ深く感謝いたします。

平成 27 年度 学生代表  
2 年 馬場真由

# 湊地区まちづくりアンケート

回答期日 9月 12日

この度は、アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。  
アンケートを回答される方につきましては、一家の中で誕生日が1月1日に一番近い高校生以上の方をお願いいたします。

## 1. 調査の目的

このアンケートは、福島県主催の『平成27年 大学生の力を活用した集落復興支援事業』に参加する、会津大学短期大学部青木研究室が、湊地区ならびに湊地区地域活性化協議会の協力を得て実施するものです。湊地区の現状を分析し、今後のまちづくりの参考資料として活用することが目的です。調査結果は、11月の湊地区での報告会で皆様にお知らせするとともに、12月の県の報告にも利用いたします。

## 2. 回答の書き方

- 質問に対して選択した回答の番号に「○」印を付けてください。
- また、( ) 内には、具体的な事項、または数字を記入してください。
- 自由記述の場合には、ご自由に意見をご記入ください。
- そのほか、ご不明な点がありましたら、以下の連絡先にお問い合わせ下さい。

## 3. 連絡先：会津大学短期大学部産業情報学科経営情報コース

青木研究室 2年生 馬場真由

〒965-8570 福島県会津若松市一箕町大字八幡字門田1-1

TEL 0242-37-2470 (研究室直通) FAX 0242-37-2412

担当教員：青木孝弘 (会津大学短期大学部産業情報学科講師)

## ★個人情報の取り扱い

- ・今回の調査で知り得た内容については、福島県個人情報保護条例に則り、適切に管理、処分いたします。また、調査の目的以外には使用致しません。

## 様々な生活分野における「満足度」と「重要度」

問1, (1)～(14)の各問いに対して、満足度と重要度それぞれの当てはまる項目に○をつけてください。

例

満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	わからない



(1) 買い物

満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	わからない

(2) 公共交通

満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	わからない

(3) 医療

満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	わからない

(4) 消防防災

満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	わからない

(5) 高齢者の見守り・介護

満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	わからない

(6) 保育環境・子育てのしやすさ(施設やサポート体制)

満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	わからない

(7) 教育環境(学校・塾・習い事など)

満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	わからない

(8) 公園(子供の遊び場)

満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	わからない

(9) 産業振興

満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	わからない

(10) 観光振興

満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	わからない

(11) 地域文化振興

満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	わからない

(12) スポーツ・祭りなどのイベント

満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	わからない

(1) 住民間の交流(交流するための場所、機会)

満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	わからない

(2) 地域団体のあり方(団体数と活動内容)

満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	わからない

(15) 若者の定住について

満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
重要度	重要	やや重要	あまり重要でない	重要ではない	わからない

問2,その他、困っていることや、今後懸念される点についてご意見がありましたらご自由にお書きください。

湊地区について

問3,あなたは、今後も湊地区に住み続けたいと思いますか。該当する項目に○を付けてください。

- 1) 今後もずっと住む 2) いつかは移住したい 3) 住み続けたいが何ともいえない  
4) その他

問4, 問3の項目を選んだ理由を教えてください。(自由記述)

問5, 湊地区で(1)～(3)の取り組みを行う場合、あなたの参加の意向について○をつけてください。

(1) 商品開発・販売(農産物加工)

是非やりたい やりたいが自信がない できることはやりたい現状では難しい 関心がない

(2) 地域外住民の受け入れ(移住・交流など)

是非やりたい やりたいが自信がない できることはやりたい現状では難しい 関心がない

(3) 景観美化の取り組み

是非やりたい やりたいが自信がない できることはやりたい現状では難しい 関心がない

問6, 湊地区についての情報入手状況についてお聞きします。

- ① 現在、あなたが地域について入手できる情報で不足しているものはありますか。(自由記述)
- ② 地域の情報は何で入手するのが便利ですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。
- 1) 回覧板
  - 2) 集落の掲示板
  - 3) 『湊のくに』やチラシ等
  - 4) クチコミ
  - 5) メール
  - 6) その他( )

問7, 湊地区の地域資源(農産物、自然、景観)などを活用した地域おこしのアイデアがありましたら、教えてください。(自由記述)

問8, あなたの性別についてお伺いします。該当する性別に○をつけてください。

- 1) 男性
- 2) 女性

問9, あなたの年齢層についてお伺いします。該当する項目に○をつけてください。

- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代
- 80代以上

質問は以上です。

**ご協力ありがとうございました!**

アンケートは9月12日までにご回等の上、組長さんへご提出ください。

## れっつミンナと！ 「湊地区まちづくり調査報告会&

## ワークショップ」を開催します！！

《れっつミンナとは？》

会津大学短期大学部 産業情報学科 青木ゼミに所属する学生が組織するチームです。「福島県大学生の力を活用した集落復興支援事業」を活用し、会津若松市湊地区における地域課題の解決に向けて活動しています。

今年度、アンケート調査や実際に地区を訪れての資源調査などの活動を、湊地区地域活性化協議会や市と連携をしながら行ってきました。

《報告会を行います！》

私達が湊で行った資源調査とアンケート調査の結果をご報告して、その結果をもとに湊地区を“よりよく”するために、みなさんと一緒に考えるワークショップを行います。楽しみながら地区の事を考える機会にしたいです。ぜひ参加してみてください！

「湊地区まちづくり調査報告会&ワークショップ」

○日時：11月28日(土) 午後1:00～(2時間程度)

○場所：湊町公民館

○参加できる方：湊地区に住んでいる・通勤している方、出身者

○問い合わせ：0242-37-2470 (会津大学短期大学部 319 研究室直通)



資源調査では、湊の良いところをたくさん発見しました！

## 湊で撮った映画上映会も同時開催！

## ショートフィルム「あかべこ」上映会

『湊地区まちづくり調査報告会&ワークショップ』が終わった後は、福島県のPRを目的として企画され、今年の2月に湊町赤井地区でも地域の皆さんと協力を得て撮影が行われたショートフィルム『あかべこ』の凱旋上映会を開催します。

物語は、誕生する赤ちゃんのお守りとして飾られた赤べこが憎らしくて捨てた女の子の前に謎の女が現れる。ユーマラスであったかいたファンタジー。会津の民芸品「赤べこ」や、会津若松市の冬の風物詩「会津絵ろうそくまつり」など、会津地方の冬景色のなかで温かい風土が感じ取れる作品です。

監督：高橋秀綱 脚本：渡賀来かつこ (福島県出身)

出演：佐野仁香、富山えり子、大久保千晴、金沢きくこ

【上映・受賞歴】

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭 2015 観客人気投票第2位  
福井駅前短編映画祭 2015 ベストアクトレス受賞 (赤べこ役：富山えり子)

第1回神保町映画祭 グランプリ受賞

うえだ城下町映画祭 2015 ノミネート

横浜 HAPPY MUSIC 映画祭 2015 映画祭セレクション

○日時：11月28日(土) 午後3:30～4:30 (開場：午後3:00)

○場所：湊町公民館

○料金：無料

○誰でも参加できます。

【上映会プログラム】

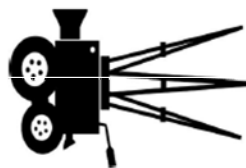
15:00 開場

15:30 上映 (24分)

15:55 トークセッション

16:30 終了予定

監督さんや出演者から、映画づくりのお話しがきけちゃいます。子どもからお年寄りまで、たくさんの方に見て欲しいです。



当日11時30分～、湊地区地域活性化協議会文化観光部のメンバーで『新米のおむすび』と『野菜たっぷり豚汁』を振る舞います！！

(先着 100 名様)